第 19 回加齢美シンポジウムが開催されました

いい髪、いい笑顔。

日本弱酸性美容協会が主催する第 19 回加齢美シンポジウムが 7 月 2 日(月)と 3 日(火)の両日にわたって、盛大に開催されました。会場は文京シビックホール(大ホール)。二日間の参加者数は延べ２，４９７名でした。

7 月 2 日と 3 日に行われた講演等の要旨は以下のとおりです。

■開会の言葉

荒井豊司　日本弱酸性美容協会副理事長

■岩手・宮城・福島・茨城支部より感謝の言葉

昨年三月の東日本大震災で被災した岩手・宮城・福島・茨城の被災会員を代表して、

宮城支部の遠藤和子支部長が協会の被災支援に対して感謝の言葉を述べました。

「震災から一年四か月がたちました。被災で失ったものはとりもどせませんが、助け合える仲間がいること、ベル・ジュバンスの絆で支えられていること、ベル・ジュバンスだからこそ悲しみを乗り越えてやっていけることを知りました。理事長を始め全国の会員の皆様から温かいお気持ち・メッセージ、そして多大なる義捐金を寄せていただき元気づけていただき本当にありがとうございました」。

■基調講演

山﨑光信　日本弱酸性美容協会理事長

「協会発足と同時にスタートしたシンポジウムも２年後の次回は第 20 回という、これもまた大きな節目になります。50 年の歴史を刻むベル・ジュバンスですが、これからは次の 50 年へ百周年を見据えてさらにパワーアップを目指してまいります。

※このあと百周年に向けて現在進めている全製品のリニューアルについて内容説明がありましたが、トリートメントローション始め全品目のリニューアルの詳細は略します。」

山﨑伊久江　山﨑伊久江美容研究会会長

「ベル・ジュバンスという美容は、『薬液を作る人』『販売する人』『技術(弱酸性美容法)を教える人』という三本の柱がしっかりとあって成り立つものです。私は三本の柱の一つである「技術を教える人」の立場でさらに続く 50 年に向けて努力していくつもりです。これからも皆様どうぞよろしくお願い申し上げます」※このあと発表された山﨑伊久江会長によるベル・ジュバンスのスキンケアシリーズ全品目のリニューアルの詳細は略します。

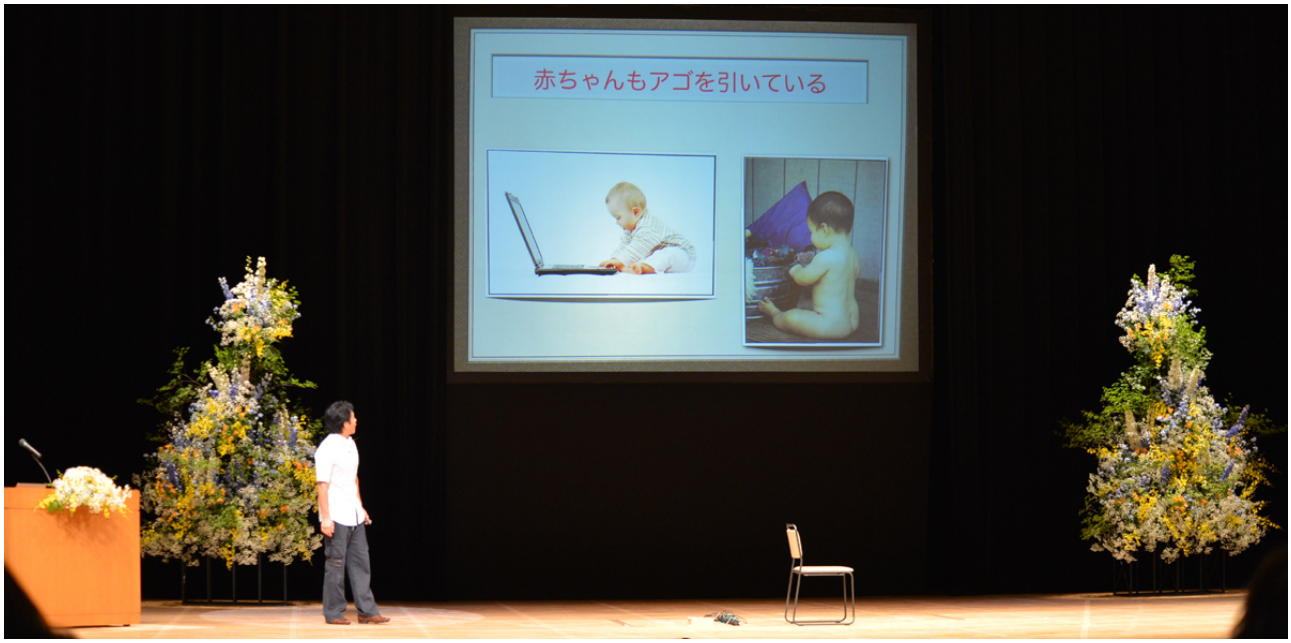
講演

強者(つわもの)はアゴをひく

●伊藤和磨　先生　(矯正運動療法士)

元Ｊリーグ・ヴェルディ川崎で活躍したプロサッカー選手の伊藤和磨先生。解剖学や病態生理学、神経

生理学、バイオメカニクス、キネシオロジーを次々と学び、2002 年開業以来、腰痛改善のプログラムをクライアント(腰痛の改善を求める方々)に提供してこられました。
年間延べ 1600 回以上のセッションを行っている臨床例から、多くのクライアントを快方へと指導された経験をまじえ、腰痛の原因としての「姿勢」や「生活習慣」について、痛みの軽減へのポイントなどを含めわかりやすく解説していただきました。



講演

今、デトックスの科学を解き明かす

●田澤賢次　富山医科薬科大学(現富山大学)名誉教授

加齢美シンポジウムではすっかりおなじみの田澤賢次先生には、今回も皮膚や毛髪の排泄機能の基本的考え方、そして医学におけるデトックス理論のわかりやすい解説から、活性酸素が顕著に排泄される弱酸性ヘアエステ・フットエステの排液データについて解説していただきました。またこの度リニューアルされる新薬による水銀や鉛など有害ミネラルの排泄効果についても、実験の結果同様の分析検証をしてくださいました。

講演の後半ではご自身の最新刊の著作「林檎の力」から、内容の一部をご紹介いただきました。体内被曝がわかっているチェルノブイリ近郊都市の子供たちに、アップルペクチンを継続して投与したところ放射性セシウムが顕著に排泄できたという臨床報告データを示し、身近な果物である林檎に含まれるアップルペクチンのデトックス効果をご教示くださいました。

■テクニカルステージ　山﨑伊久江美容研究会

「50 年から 100 年へ 未来を見据えパワーアップしていくベル・ジュバンス」

★ ベル・ジュバンスのストレートパーマ、ソフトアシッドストレートの最新の施術効果についてのパフォーマンス　遠藤 繁樹講師　村木 秀行講師　加瀬 賢一講師

★ リニューアルしたスキンケアシリーズについて発表する山﨑伊久江会長

第２日目

講演

「アンチエイジングとしての心臓手術」

●渡邊　剛先生　　金沢大学心肺・総合外科教授

日本でただ一人、ロボット心臓外科医の名手である渡邊剛先生。による講演は、狭心症や心筋梗塞、弁膜症といった、昔は不治の病と言われていた心臓病の手術のお話から。

胸を大きく切ることなく、直径 1.5 ㎝の穴をあけ内視鏡を使って行う最先端の手術によって、今や重症の心臓疾患でも昔では考えられないような治癒率の高いものになっている現状を、術後患者さんたちの元気な様子や声の記録ビデオとともにご紹介いただきました。

「天才外科医ブラックジャック」に憧れて医師を志した、と仰る渡邊先生。そんなスーパー名医の渡邊剛先生の元気のもと、お気に入りの健康法の一つに、弱酸性美容法ベル・ジュバンスヘアエステをあげられています。「初めは美容室に行くのに少し抵抗があったのですが、いまでは楽しみです。頭をさわってもらう気持ちよさは格別ですね。86 歳になる美容師の先生に施術してもらい、発酵食品やにんにくなどいただいたりして健康談義していますよ。病院と美容院って、ゴロも似てますね(笑)」

※渡邊剛先生の公式ホームページ　http://www.doctorblackjack.net/

公式サイト内では先生を支えるツールとして弱酸性美容法がご紹介されております。以下リンク参照

http://www.doctorblackjack.net/tool/supplement_tool.html

講演

「水素の健康科学と医療への利用」

●太田成男先生　　日本医科大学大学院　医学研究科教授

ミトコンドリア研究の第一人者、分子細胞生物学者の太田成男先生。

ミトコンドリアとは細胞にあって生きるために必要なエネルギーを作る小器官、すなわち『体を若くする働きをする器官』です。

「細胞の老化は年齢とともに一直線に落ちていくのではありません。壊れては修理し、壊れては治して毎日毎日 5 万から 20 万の細胞の修理作業を繰り返しているのです。この“治す力”はすごいのです。どこから生まれるかというと、細胞のエネルギー工場ミトコンドリアです。ミトコンドリアを増やせば体の若返り機能が向上し、代謝が活発になるので肌や髪もつややかに、美容への効果も大いに期待できます。

しかし一方、ミトコンドリアが若さを支えるエネルギー製造工場だとすると、その製造過程で同時に出来てしまうのが“活性酸素”です」太田先生は世界的に注目を集める「水素医学」のパイオニアでもあります。

講演の後半では、水素の活性酸素を減らす目覚ましい働きについて、映像を示しながらわかりやすく解説をしていただきました。

太田先生は世界的に注目を集める「水素医学」のパイオニアでもあります。講演の後半では、水素の活性酸素を減らす目覚ましい働きについて、映像を示しながらわかりやすく解説をしていただきました。「水素医学の論文を世界の権威である Nature Medicine に、はじめて発表してから４年がすぎました。この間に世界から 100 以上の論文が発表され、水素の身体への効果は揺るぎないものとなっています。しかも、当初考えていたよりも、はるかに多方面への効果が期待されるようになりました。 残念ながら、私たちの研究に便乗して実際は水素が発生しないに発生するかのように謳っている商品も見受けられます。私たちは、キチンとした科学的研究と臨床試験によって、水素を私たちの健康・美容に役立て、病気の予防と治療に使えるように貢献していきたいと思います」

講演

「日本の進路と誇りある国づくり」

●櫻井よしこ先生　　ジャーナリスト

櫻井よしこ先生は加齢美シンポジウムでは最多登壇のゲスト講師。

今回も笑顔いっぱいの櫻井先生は、ジャーナリストの鋭い切り口で、時に笑いを誘うようなサービス精神も交えながら混迷する日本の政治や政局、社会の抱えるさまざまな課題に切り込む時評をわかりやすく提示してくださいました。

■まとめ

山﨑光信 理事長

■閉会の辞

和田鹿津巳 副理事長

閉会

以上